

【算数・小6・「分数のわり算」】①

育成を目指す資質・能力

(知識及び技能) 分数÷分数の計算の仕方を理解し、計算できる。

(思考・判断・表現等) 分数を分数でわる計算の仕方を既習の計算をもとに考え、説明している。

(学びに向かう力等) 分数÷分数の計算の仕方を、既習の計算を使って考えようとしている。

ICT活用のポイント

分数のわり算の計算方法を考える際に、端末に保存してあるノートや板書、掲示物の写真画像で振り返ったり、オクリクのヒントカードを参考にしたりして自力解決を行う。

【つかむ】

前時の学習内容と本時の学習内容を比較し、本時の問いを見いだす。

【追究する】

課題解決の見通しをもち、自力解決を行う。その後、全体で意見交流し、考えを深める。

【まとめる】

本時のまとめを行い、適用問題に取り組み、本時の学習を振り返る。

事例の概要

- 分数÷分数の計算の仕方について、既習の計算方法や数直線等を使って求め方を考え、比較・検討することを通して、分数÷分数は、わる数の逆数かけることで計算できることを理解し、計算できる。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 課題解決の見通しをもったり、自力解決を行ったりする際に、端末に保存してあるノートや板書の写真画像を振り返る。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 教師が事前にオクリクに送信したヒントカードを、自分の学習状況に応じて選び参考にして自力解決を図る。

【事例におけるICT活用の場面③】

- 授業の最後にノートや板書、掲示物などを振り返りながら、本時の授業のポイントを撮影し、端末に保存し、次時以降に生かせるようにする。

【算数・小6・「分数のわり算」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

T: 前時までに学習したことを生かして考えてみよう

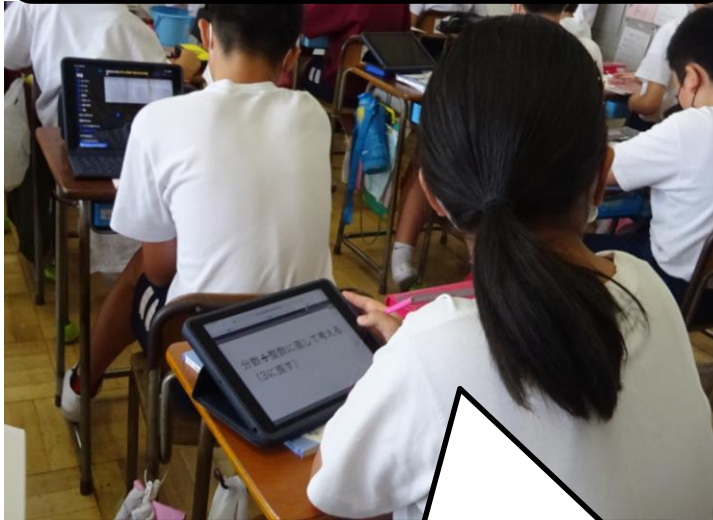


S: 計算のきまりを使って、分数÷整数に直して考えてみよう。
S: 数直線を使って、○の何個分として考えてみよう。

自力解決する際に、自分の考えをノートにまとめながら、既習内容を確認することができる。課題解決のヒントとなる内容を探することで児童主体の学びとなる。

【事例におけるICT活用の場面②】

T: ヒントがほしい人は、オクリンクを見てみよう



S: 分数÷整数にするためには、どうしたらいいのだろう。
S: まずはわる数の分数を整数にして……

自力解決する際に、全員に同じヒントを出すのではなく、一人一人の学習状況に応じて、ヒントを選ばせ、課題解決につなげることができる。

【事例におけるICT活用の場面③】

T: 今日の授業で大切なポイントを記録しましょう



S: どのような計算の仕方でも最終的にはわる数の分数の逆数をかければいいのだな。
S: この部分を撮影しよう。

振り返りをする際に、授業で大切なポイントを撮影させることで今日の学びを自覚することにつながる。また、学習履歴を写真として整理することで次時以降の学習に生かせる。